



▲第5区繁殖雌牛群の鹿児島県代表牛(4頭1組)  
(右から1番目 上ノ堀泉さん、3番目 青木春佑さん)



出品区分及び鹿屋市からの出品者

出品区	生後月齢 (10月25日現在)	鹿屋市からの 出品者
第1区 (若雄)	15~23か月未満	南上別府種畜場
第2区 (若雌の1)	14~17か月未満	—
第3区 (若雌の2)	17~20か月未満	末吉哲男さん
第4区 (系統雌牛群)	14か月以上	後堂恵さん
第5区 (繁殖雌牛群)	3産以上	上ノ堀泉さん 青木春佑さん
第6区 (高等登録群)	14か月以上	—
第7区 種牛群	17~24か月未満	川元博文さん
(総合評価群) 肉牛群	24か月未満	薬師五男さん
第8区 (若雄後代 検定牛群)	24か月未満	—
第9区 (去勢肥育牛)	24か月未満	—



8月30日、霧島市の始良中央家畜市場で、  
全国和牛能力共進会の鹿児島県最終予選  
会が行われました。

「和牛の五輪」  
全国和牛能力共進会

「全国和牛能力共進会」は、昭和41年に第1回大会が岡山県で開催し、今回の長崎大会は、節目の10回目となります。全国共進会は、和牛の能力と斉性の向上を目的に5年に1回開催されるもので、和牛改良の成果を競う「種牛の部」と肉質を競う「肉牛の部」に各地から約500頭が出品され、日本一を目指します。

今回の第10回長崎大会のテーマは、「和牛維新！地域で伸ばそう生産力 築こう豊かな食文化」で、地域の力を生かした生産効率の向上や消費者の和牛への理解を深めていただきたいという思いが込められています。

今回の鹿児島県代表牛は、地区予選や県最終予選会を経て29頭が選出され、そのうち鹿屋市からは過去最高の7頭の出品が決まりました。

鹿児島県は前々回大会では日本一を獲得。しかし、前回大会は日本一の座を宮崎県に奪われてしまったため、今回は日本一奪還を目指します。

第10回全国和牛能力共進会出品者の皆さん、出場おめでとうございます。これも皆様の日頃から飼養管理や栄養管理に努め、我が子のように愛情を注いで育てられた成果であり、改めて敬意を表します。

本市においては、日本一の畜産を目指し、肉用牛や酪農、養豚などの所得向上に向けた施策・事業を推進しておりますが、中でも全国和牛能力共進会は、本市の畜産を全国にPRし、さらなる畜産振興の起爆剤になるものと確信しております。

私も、佐世保市の会場に行き、応援させていただき、出品者の皆様におかれましては、残りわずかな時間しかございませんが、日本一を目指して頑張ってください。

全共への出場  
おめでとうございます

鹿屋市長  
嶋田 芳博



5年に1回開催され、和牛のオリンピックと呼ばれる「全国和牛能力共進会」が10月25日から29日の5日間にかけて長崎県で開催されます。

同共進会に、地区予選、県予選を勝ち抜いた7頭、7畜産農家が鹿屋市から出場します。市民の皆さんの応援をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ】市畜産林務課 ☎ 0994-31-1118



▲10月3日、市役所で行われた激励会で、7人の出品者の皆さんは、全国共進会での活躍を誓いました。